

秋田県

公文書館だより

第44号(開館30周年特別号)

令和5年12月14日



11月3日の文化の日、JR秋田駅に隣接した秋田拠点センターALIVE(アルヴェ)の1階きらめき広場を会場として開館30周年特別企画「Akita Archives Fes 2023〜あすへ語りつなごう!秋田の未来〜」を開催しました。第一部「出張公文書館へようこそ!」では、県政映画上映会の出張版として昭和45年(1970)製作「ふるさと」は羽ばたく県政10年のあゆみ」を大型モニターで上映しました。会場には正保年間(17世紀)のレプリカのほか天保年間(19世紀)の「出羽国七郡絵図」原本、江戸及び明治時代の絵図の複製45本を展示し。当館職員による絵図展示のギャラリートークを行いました。お楽しみ企画として、秋田県PRキャラクター「んだッチ」も登場し、会場を盛り上げてくれ、終戦直後昭和22年、漫画家池田さぶろによる「道路愛護マンガすごろく」複製など、当館所蔵資料から製作した景品による「お楽しみくじ引きアワー」を行いました。第2部「公文書館ってナニ?トークライブ」では、公文書館の設立や役割について「あの時何が起こっていたのか!」秋田県公文書館誕生秘話」「謎に包まれた公文書館」ほか県公文書館と市町村公文書館の公文書業務に携わる職員によるレイトーク、第3部「しゃべり場」では「夢見るアーカイブズ」をテーマに出演者が公文書館の魅力やこれからの期待を語り合いました。

開館30周年記念 秋田県公文書館企画展 アーカイブズのチカラ

特別展示室を会場とした開館30周年記念企画展は、「アーカイブズのチカラ」を展示名とし、8月24日から9月24日まで前期展、9月28日から11月5日まで後期展を開催しました。公文書や古文書が持つ「過去の記録を現在の社会に生かす」潜在力が多くの方に伝わるよう、願いを展示名にこめました。急激な社会変化、少子高齢化、人口減少と先行きは不透明ですが

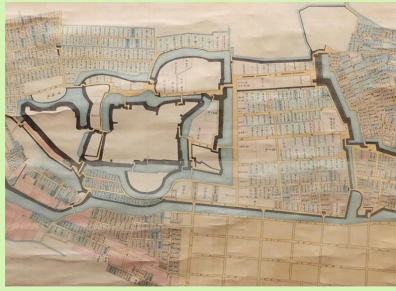
かけがいのない先祖や故郷の記録を失ってはなりません。こうした思いのもと、市立公文書館では大仙市アーカイブズ・横手市公文書館、公文書館機能を持つ秋田市総務部文書法制課、由利本荘市・能代市・湯沢市、歴史的資料の保存に住民の関心が高い東成瀬村・小坂町の8市町村に当館が

出展を依頼して今回の企画展を開催しました。開館当時、県内の

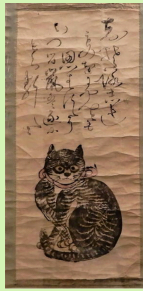
公文書館は当館のみでしたが、近年は市町村にも公文書館機能を意識する動きが見られており、30周年記念事業に相応しい企画展になりました。

秋田県では農作物と農業技術の改良普及を目的とした「種苗交換会」が明治時代から毎年開催されており、活発な情報交換が行われています。県と市町村が保存する個性ある歴史資料が観覧者を楽しませ、かつ職員相互に情報及び技術交換が行われた今回の企画展は、まさに「アーカイブズの種苗交換会」のようでした。

ミニ展示ギャラリーの一部を紹介



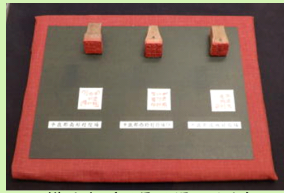
秋田市 (明治3年の久保田城下絵図)



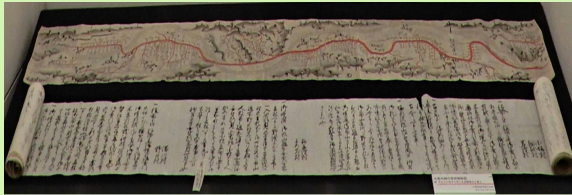
東成瀬村 (猫絵)



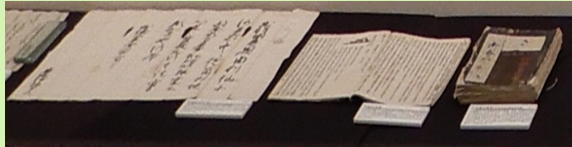
大仙市 (関東大震災の写真)



横手市 (戸長役場の公印)



小坂町 (南部藩御境古人の古文書と古絵図)



由利本荘市 (岩城・六郷・打越氏の古文書)



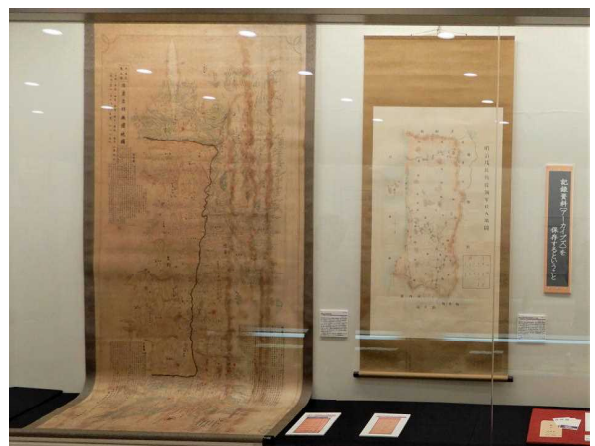
能代市 (能代大火と復興)



湯沢市 (近代児童作品)

期	出展自治体	おもな展示資料
前期	東成瀬村	養蚕を鼠から守る猫絵、住民が整理した古文書
	秋田市	最後の城下絵図、秋田市徽章制定関係ほか
	横手市	明治の町村合併以前の戸長役場公印ほか
	大仙市	関東大震災、強首地震関係写真・文書ほか
後期	小坂町	南部藩の境目役人「古人(ごにん)」関係
	由利本荘市	入部400年記念、岩城・六郷・打越氏の古文書
	湯沢市	湯沢尋常小学校児童画(大正13年、昭和12年)
	能代市	能代大火と復興に関する写真と地図ほか

8市町村のおもな展示資料は上表のとおりです。当館においても、「明治戊辰戦役賊軍侵入地図」「陸奥出羽領国地図」(右写真)など、劣化により閲覧困難だった状態を補修し公開に供した絵図のほか、終戦後に県地方事務所が供出米奨励のため作成した漫画ポスターの原画などを展示しました。9つの組織が野球チームのように「アーカイブズのチカラ」を結集した企画展、打球はフェンスを越えたでしょうか。【柴田知彰】



公文書館の30年

昭和45年・県立秋田図書館で文書館構想策定

54年・公文書館設置に向け、県庁内に検討班設置

59年・「秋田県立図書館・公文書館基本構想策定委員会(仮称)」の基本報告まとまる

平成2年・「秋田県立図書館・公文書館建設計画」策定

3年・複合館建設着工

5年・3月「秋田県公文書館条例」公布

・11月2日 **秋田県公文書館開館**
(総務課・公文書課・古文書課)

・開館記念特別展開催

6年・県内歴史資料所在調査開始(～平成13年)

・古文書解読研究会開始(現:古文書解読講座)

・企画展開催(以後、毎年度開催)

・「公文書館だより」創刊(令和5年6月 第43号刊行)

7年・『御亀鑑』翻刻本全7巻完結

・「研究紀要」創刊(令和5年3月 第29号刊行)

・古文書目録第1集『加賀谷家文書目録』刊行

・市町村史料保存実務担当者会議開催(現:市町村公文書
・歴史資料保存利用推進会議)

8年・『渋江和光日記』翻刻本刊行開始
(平成17年に全12巻完結)

・全国歴史資料保存利用機関連絡協議会
第22回全国大会開催(秋田市)

9年・古文書目録第2集『秋田藩家蔵文書目録』刊行

11年・古文書目録第3集『絵図目録』刊行

12年・公文書館Webサイト開設

13年・古文書目録第4集『系図目録Ⅰ』刊行

14年・古文書目録第5集『系図目録Ⅱ』刊行

・古文書班を図書館に移管

15年・公文書館中期計画策定(H14～H18)

・教育庁の公文書引渡し開始

16年・『秋田県庁文書群目録』刊行開始
(平成23年に全8集完結)

・3月「今後の公文書館の在り方検討会」設置

・11月上記検討会の報告書を提出・公表

17年・古文書班を公文書館に移管

・「古文書倶楽部」発行開始

平成17年・歴史講座開始

・公文書館懇話会発足(～平成23年)

・市町村公文書保存状況調査開始(～平成19年)

18年・『宇都宮孟綱日記』翻刻本刊行開始
(平成25年に全8巻完結)

・Webサイトに『国典類抄』検索目録、及び所蔵公文書
仮目録(簿冊・件名データ)を掲載

19年・公文書館新中期計画策定(H19～H23)

20年・閲覧室に利用者用資料検索システムを設置

・県内歴史資料所在調査再開
(平成の市町村合併後の再調査)

21年・各行政委員会の公文書引渡し開始

・県政映画上映会開始

・古文書相談日開始

・古文書目録第6集『秋田県庁旧蔵古文書』刊行

23年・古文書目録第7集『佐竹文庫目録』刊行

24年・公文書館中期業務ビジョン策定(H24～H28)

・古文書目録第8集『佐竹北家文書・佐竹西家文書目録』
刊行

・閲覧室に絵図検索データベースを設置

25年・閲覧室に東京大学史料編纂所画像閲覧システムを設置
(「秋田藩家蔵文書」の画像)

・開館20周年記念行事開催(記念展示、記念講演)

・古文書目録第9集『戸村家文書目録』刊行

26年・『岡本元朝日記』翻刻本刊行開始
(令和3年に全8巻完結)

27年・全国歴史資料保存利用機関連絡協議会

第41回全国大会開催(大仙市)

28年・公文書館新中期業務ビジョン(H29～H30)策定

29年・公式Twitter(現X)の運用開始

30年・公文書館中期業務計画(H31～R5)策定

令和2年・資料検索システムを更新し、業務支援システムに改称

3年・「古文書倶楽部」100号発行「公文書館だより」に統合

4年・『野上陳令日記』翻刻本刊行開始

・記憶の護り人養成教室(資料整理講座)開始

5年・開館30周年記念行事開催(出羽一國御絵図展示、
市町村連携展、Akita Archives Fes 2023)

～ フォトアルバム ～

Akita Archives Fes 2023

秋田県公文書館
開館30周年記念

Akita Archives Fes 2023

秋田県公文書館は、昨日開館30周年を迎えました。
30年前の今日、平成5年(1993)11月3日の天候は晴れ。晩秋の柔らかな陽光の中で、東北地方最初の公文書館として、一般利用者をお迎えしました。

公文書館が所蔵する資料は、刊行物を扱う図書館とは異なり、この世に1点しかない歴史公文書、古文書、絵図等です。また、ガラス越しでしか見ることのできない博物館とは異なり、利用者は所蔵資料を手にとって見るすることができます。

本県に公文書館を設置する検討は昭和30年代に始まり、県の歴史をこよなく愛する歴史家を中心に熱望され続け、平成5年(1993)11月2日に開館しました。以来30年、県公文書館は日々の県政を運営する中で作られる公文書の選別と保存業務を行い、古文書についても解説教室を開いたり、普及活動として所蔵資料の展示を行ってきました。

今日は30年間県公文書館を支えてくださった皆さまへの感謝として、ここに「Akita Archives Fes 2023」(秋田県公文書館まつり)を開催します。会場には50点を超える絵図を展示し、午後1時30分からは公文書のスペシャリストによるリレートークとパネルディスカッションを行います。またリレートークとパネルディスカッションでは、秋田ファシリテーション事務所の平元美沙緒さんによるグラフィック・レコーディングもお楽しみいただけます。

ご来場の皆さまにおかれましては、4時間限りのお祭りをお楽しみいただければと思います。

令和5年11月3日
秋田県公文書館長

秋田県公文書館
開館30周年特別企画
秋田県公文書館まつり

Akita Archives Fes 2023

～あすへ語りつなごう！秋田の未来～

令和5年11月3日(金)

秋田拠点センターALVE 1階きらめき広場

第1部 出張公文書館へようこそ！ 11:00～15:00
郷土を愛す。絵図が語る秋田の姿

11:00～ 出羽一國御絵図 圧巻の12×5レゾ！
江戸・明治期の絵巻約50巻を展示 外から眺めてもOK 絵図の上にあがってもOK

11:00～ 県政映画上映会
11:30～12:15 展示解説 1回目
12:30～13:15 展示解説 2回目

13:15～13:30 お楽しみくじ引きアワー

★展示資料は15:00まで会場にて設置(案内随時)

第2部 公文書館ってナニ？ トークライブ 13:30～14:30

公文書のスペシャリスト5名による「持ち時間一人8分」のリレートーク！

■あの時が起きていたのか？～秋田県公文書館誕生秘話
■隠に包まれた公文書館 他

第3部 しゃべり場 14:30～15:00
語りあう公文書館の魅力
[テーマ] 夢見るアーカイブス

秋田県公文書館

〒010-0962 秋田県山王町14-33
電話 018-906-8000 FAX 018-986-8303
E-Mail koshunshokan@pref.akita.lg.jp



展示物の解説ギャラリートークを行っている当館職員と来場者



講演の内容を進行に合わせリアルタイムに絵や図形で表現するグラフィック・レコーディング

令和5年度連携展

市町村との連携展示(おらだの記憶展)

(東成瀬村・大仙市・横手市)

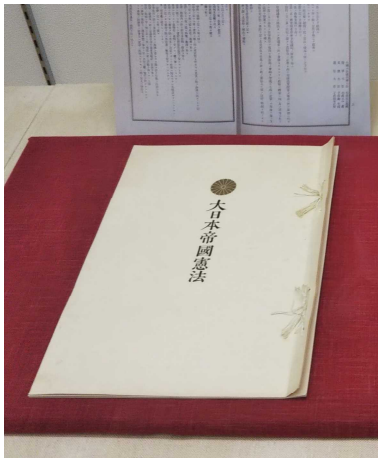
今年度は秋田県公文書館と市町村が所蔵する資料を持ち寄り、それぞれの地域で開催する連携展を行いました。地方の歴史をより広く、より楽しく理解することを意図した展示です。「市民の知的財産」「社会共有の記憶」を秋田弁で表現した「おらだの記憶」をテーマにしました。

●「おらだの記憶展 in 東成瀬村」

4月22日(土)～6月22日(木)

於・東成瀬村ふるさと館

養蚕農家の鼠除けの象徴である猫の絵の掛軸、秋田県に明治政府から下賜された大日本帝国憲法、明治時代の小学校の資料を展示しました。



●「おらだの記憶展 in 大仙市」

6月27日(火)～8月17日(木)

於・大仙市アーカイブズ



参勤交代で刈和野に來た藩主行列の資料「御参勤御道中御手控」、秋田鉄道史の資料、大仙地域の今はなくなってしまった明治時代の温泉の資料などを展示しました。

●「おらだの記憶展 in 横手市」

8月19日(土)～10月19日(木)

於・横手市公文書館

横手城下絵図、明治27年の水害、大正時代にやってきたサーカスのチラシや昭和48年の豪雪の記録写真等を展示しました。



連携展では地域に密着する展示を行い、住民の皆さんの興味や理解に繋がったと思います。【須釜健一】

「公文書館」って知ってる？

「開館30周年記念事業の秘話」

令和5年11月3日(金・祝)に多くのお客様をお迎えした「公文書館まつり」をもって開館30周年記念事業のすべてが無事終了しました。

実はこの事業、約2年程前から企画が始まりました。私はこの事業の準備段階から最終事業まで終始見届けて来ました。

公文書館に來てから間もない私にとって右も左もわからない状況でのスタート。日頃、感じていたのは県民の皆さんが図書館、博物館を知っているても「公文書館」はご存じなのかという思い。これを解決するために、二つのことを行いました。

一つ目は4月から11月まで広報や宣伝の際に必ず「公文書館」の文字等を入れることにしました。二つ目はポスター類の広告を公文書館らしくないものにしてみました。

4月から連携展が始まり、6月にアトリオンでの展示。そして、アルヴェエでの公文書館まつり。各種事業を通じて「公文書館」を知っていただけなら幸いです。そして、この事業にご協力いただきました関係者皆様に感謝いたします。【梅田浩彰】

公文書館開館30周年記念事業 アーカイブズのチカラ

「出羽一國御絵図」展示会

絵図の上を自由に探索♪

6月9日から11日まで秋田市にある秋田総合生活文化会館アトリオンの地下一階を会場に開催しました。「出羽一國御絵図」は、江戸時代に描かれた出羽の国絵図で、現在の地図で北は北秋田郡から南は山形県奥賜郡に重なる場所です。原本は狩野派による色彩鮮

やかな5・35×12・25mの巨大な軸物で県指定文化財となつています。昭和25年（1950）に県庁書庫で発見され、床面に広げた絵図を周囲から眺める形で一般に展示された際は、多くの県民が見学に訪れました。平成26年に絵図の原寸大レプリカを製作しました



「出羽一國御絵図」（県C-603）

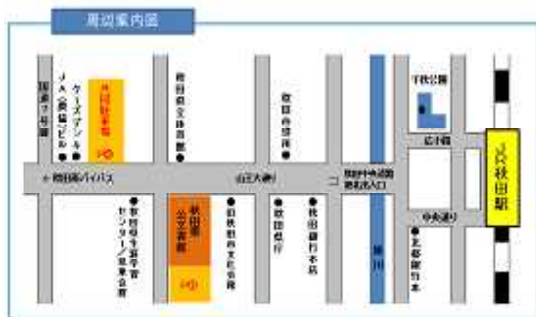


が、それはラバー素材に絵図の画像を印刷しコーティングしたもので、一枚約1m四方に分割したパネル60枚から成ります。展示会では順番に敷き並べて展示することで観覧者が靴を脱いでレプリカに乗り、好きな場所で屈み込んで見ることができました。加えて、会場は中央が吹き抜けになっており、階上から巨大なレプリカの全体を俯瞰することもでき、その大きさ、絵図の美しさに興味を持ち観覧に訪れる方もおりました。そのほか、当館の江戸時代の絵図の複製19本を展示し、自分の住んでいた場所との違いを確認したり質問をしている方もいたり、3日間、700人を越える大盛況となりました。本展示会は新聞やテレビでも取り上げられ、普段アーカイブズに馴染みが少ない方々にも当館をアピールできたと感じました。今回、公文書館職員としても海の青や森の緑が目飛び込んでくる鮮烈な極彩色の巨大絵図「出羽一國御絵図」の持つ「アーカイブズのチカラ」の大きさをあらためて実感させられました。

【須釜健一】

編集後記

秋田県公文書館は平成5年（1993）に開館し、11月2日で満30年を迎えました。情報は、この30年でデジタル分野では、パソコン通信・携帯電話・ポケベルといった文字情報、ネットワークの進化に伴い文字から画像そして映像へとどんどん進み、自分が主体となり配信するという情勢になっていきます。情報の消費や普及も過去と比べ早くなり、今後は機械のサポートによって、さらに加速するはず。5年・10年後の未来の公文書はどうなるのか楽しみです。公文書館は公文書を保存し普及活動、閲覧や利用というサイクルを繰り返すところであり、またよい未来を創るため当館に来てみてはいかがでしょうか。（釜）



当館ツイッターはこちらどうぞ



編集発行：秋田県公文書館（秋田市山王新町14-31 県立図書館と併設）
電話 018(866)8301 FAX 018(866)8303 最寄りバス停：県立体育館前
URL <https://www.pref.akita.lg.jp/kobunsyo/>